



年 組 名前

道新ワークシート

道産米 増産目標8.0%に

25年産 価格安定狙う

北海道やJA北海道中央会などをつくる北海道農業再生協議会水田部会が、2025年産の道産主食用米の生産目標を当初の49万7千トンからさらに3・4%引き上げ、51万4141トンとする方針を固めた。24年産の目標に比べ8・0%増となる。一度決めた目安を見直すのは初めて。高止まりするコメの価格安定を図るとともに、生産者の増産意欲に応える狙い。すでに田植えの準備は始まっており、生産者は備蓄用を栽培する水田の一部を主食用に転換するなどして対応する。

4年ぶり50万ト超

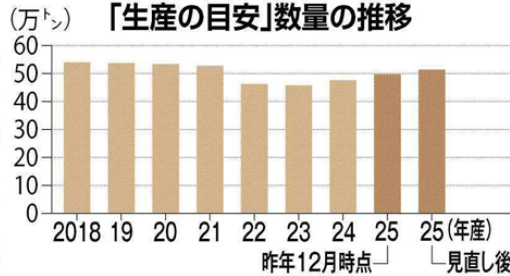
同部会は22日、札幌市内で会合を開き、目標生産量などを盛り込んだ25年産米の「生産の目安」の見直しを正式決定する。昨年12月、24年産の目標値から4・4%増とする25年産の目標値を決めていた。見直しにより21年産以来、4年ぶりに目標が50万トを超える。

目安を見直す背景には、今春の政府備蓄米の放出も影響している。1年以内に政府が買い戻す

ルール。道産米は1回目入札で1万2450トが落札され、2回目は道産米の上場はなく、今月23～25日に予定する3回目では6080トが対象となっている。道やJAグループ北海道は、買い戻しで主食用米が不足する事態を避ける必要があると判断した。

目安は、政府による生産調整（減反）が17年産米を最後に事実上廃止されたことを受け、生産過剰

北海道の主食用米「生産の目安」数量の推移



による価格低下などを防ぐために18年産から道府県ごとに設定。北海道では23年産まで前年目標比で減少が続き、24年産で初めて3・8%増とプラスに転じた。（望月悠希）

2025年 4月22日（火） 朝刊 全道版 1ページ （記事は再編集しています）

(1) 記事を読んで □ に当てはまる言葉を書きましょう。

… 日本の農業協同組合の英語の名称。

(減反) … 2017年産米まで行われていた政府による米の生産にかかわる政策の名称。

… 米の不作などの際に備えて日本国政府が食糧備蓄として保存している米のこと。

(2) 北海道農業再生協議会が、2025年産米の生産目標を49万7千トンから51万4141トンへと引き上げたのはなぜですか。記事を読んで考えられる理由を書きましょう。